

最期の願いは、
僕たちが支える。

ピア

まちを
つなぐもの

Peer

細田善彦

松本若菜 川床明日香 竹井亮介 三津谷亮 金子なな子
田山由起 桜まゆみ 枝元 萌 村上和成 中野マサアキ 大迫一平 加藤虎ノ介
戸塚純貴 尾美としのり 水野真紀 升 毅

監督:綾部真弥 企画・原作・プロデュース:山国秀幸
脚本:藤村磨実也・山国秀幸 主題歌:橘 和薫「この街で」(ユニバーサル ミュージック)
撮影:伊藤麻樹 照明:尾下栄治 録音:渡澤 修 美術:横守 剛 編集:岩切裕一 音楽:遠藤浩二
製作:映画「ピア」製作委員会(サンダーボルトリー/アイ・ビー・アイ/ユナイテッドエンタテインメント/JR東日本コミュニケーションズ/エイチエムエス)
配給:ユナイテッドエンタテインメント 制作:UE 協力プロダクション:スタジオネブルー
2019年/日本/カラー/5.1ch/99分 ©2019「ピア」製作委員会

www.peer-movie.com



在宅医療に懸命に取り組む、若き医師と仲間たち——命と希望の物語



推薦:厚生労働省 文部科学省選定作品 特別協力:日本医師会/日本歯科医師会/日本薬剤師会/日本看護協会/日本在宅ケアアライアンス/全国在宅医療医歯薬連合会
日本介護支援専門員協会 特別協賛:医療法人社団清風会 平野医院/日本介護クラフトユニオン/グッドライフケア/在宅支援総合ケアサービス/ソラスト/カナミックネットワーク
介護のツキイ/学校法人 兵庫医科大学/ミアヘルサ/レパレージュズメディカルケア/メディカル・コンシェルジュ

患者を治せない医者に
できることって
何なんですか？
僕に何ができるんですか？



「ケアニン～あなたでよかった～」に続く、笑って泣けて、人生に前向きになれる感動の人間ドラマ

一番好きな場所で、最後まで自分らしく、穏やかに、
幸せに生きてもらうための医療をやるんだ。

2017年から全国各地で1年以上にわたって劇場公開され、上映会も国内外の800ヵ所以上で開催されている映画『ケアニン～あなたでよかった～』。その製作スタッフが再び集まり製作した、在宅医療と介護をテーマにした映画『ピア～まちをつなぐもの～』が完成しました。本作は、在宅医療に関わる医師を中心とした多職種や現場への取材・情報収集を重ねて書き下ろしたオリジナルストーリーです。若手医師とケアマネジャーの二人の成長物語を中心に、介護福祉士、訪問看護師、薬剤師、歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士、リハビリ専門職などの多職種がチームとして連携しながら、在宅医療と介護、看取りに懸命に取り組む姿を描きます。人や地域との繋がりの尊さを描く、笑って泣けて、人生に前向きになれる心温まる感動作がここに誕生しました。

STORY

「最期の願いは、僕たちが支える。」

病気で倒れた父親の医院を継ぐために大学病院を辞めざるを得なくなった若手医師の高橋雅人は、父の要望で次々訪問診療も始めることになるが、地域の患者やその家族たちの医療にはなかなか関心を持ってないでいた。それに加えて医師としてのプライドから、ケアマネジャー（佐藤夏海）や介護福祉士など他の職種との連携も積極的にとらず、やがて地域医療の中で孤立していくようになる。そんな中、訪問診療に行ったある患者家族との出会いによって、雅人の考え方が少しずつ変わっていくことに…

在宅医療の未来を考える『ピア』特別上映会

日時 2020年2月15日（土）

場所 南部地区医師会館 2階ホール

午後2時～4時（開場：午後1時半～）

対象 南部6市町の地域住民、医療・福祉・介護関係者など

内容

講話 「命しるべ～いのちの道標パンフレット～」

講師 中部徳洲会病院 在宅・緩和ケア科医長 新屋洋平氏

映画上映 『ピア～まちをつなぐもの～』



入場無料
先着180名
要申込